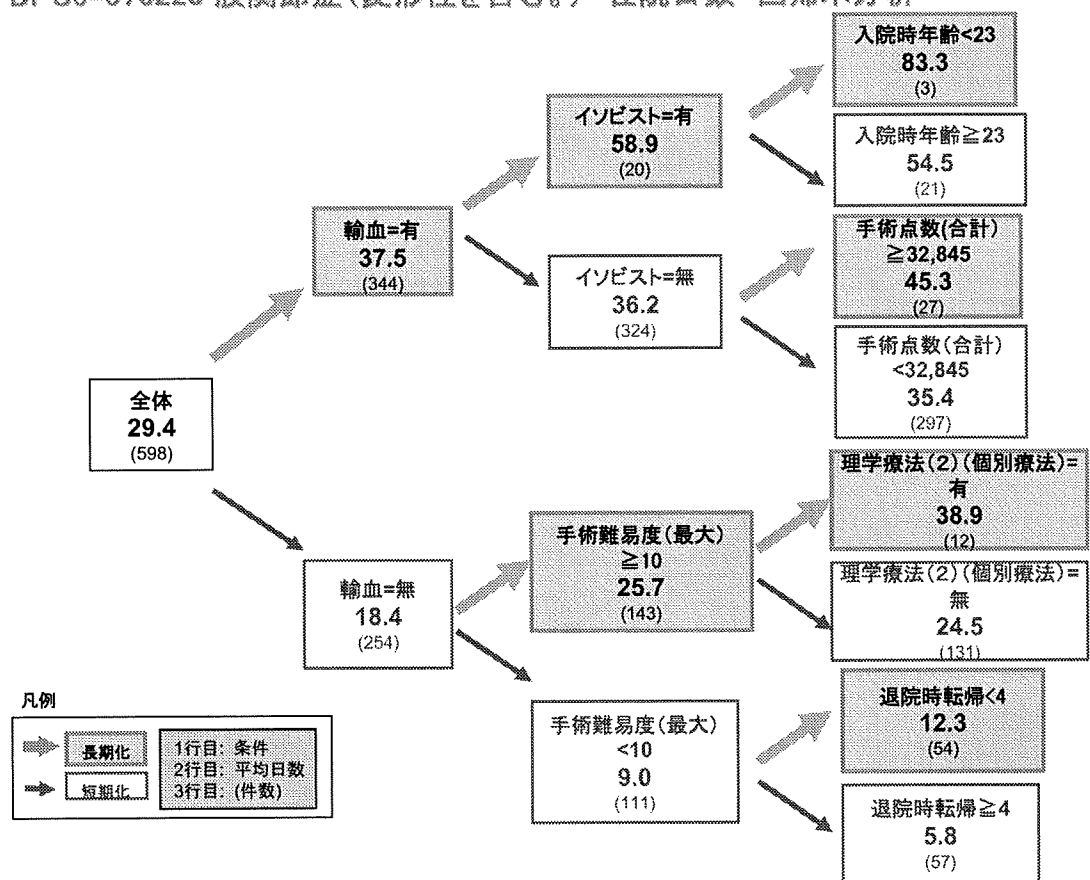


DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 在院日数 回帰木分析



DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 在院日数 回帰木分析

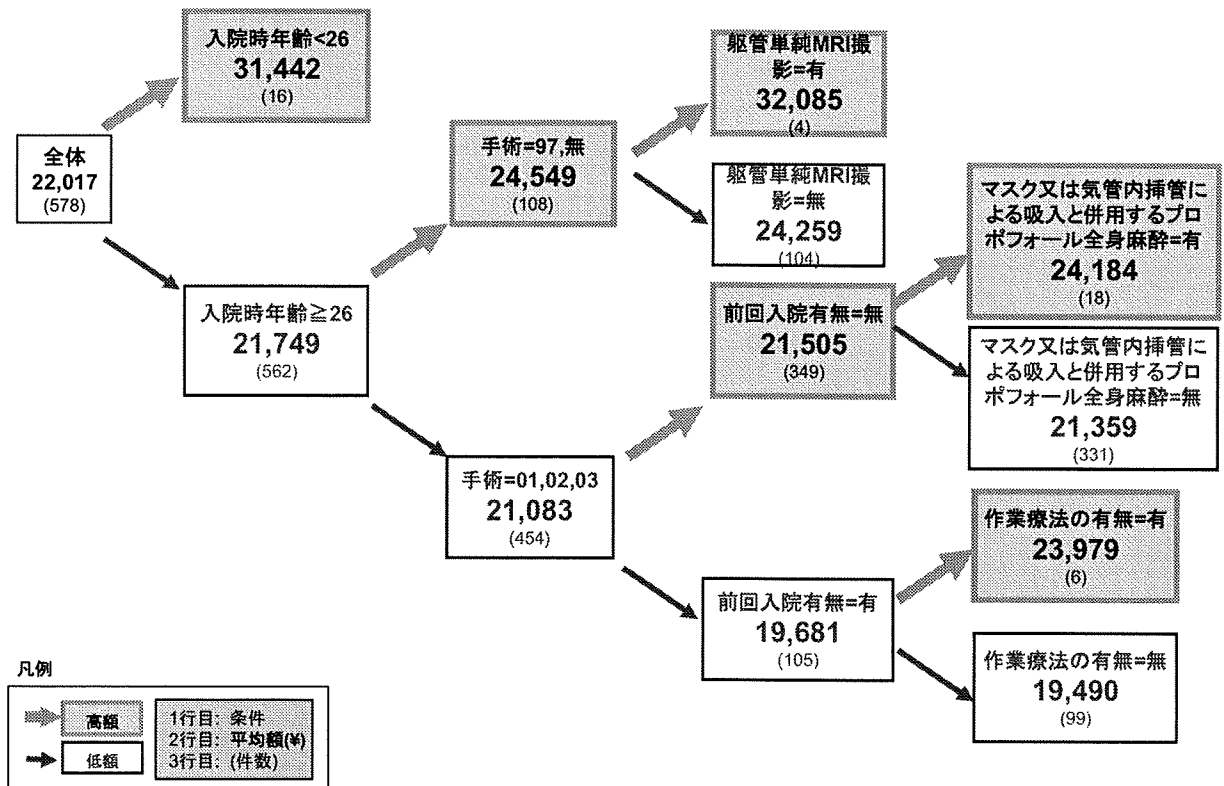
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 輸血=有
- イソピスト=有
- 手術難易度(最大) ≥9.5
- 入院時年齢 <23
- 手術点数(合計) ≥32,845
- 理学療法(2)(個別療法)=有
- 退院時転帰 <4

- (*) 退院時転帰
- 1 : 治癒
 - 2 : 軽快
 - 3 : 寛解
 - 4 : 不変
 - 5 : 増悪
 - 6 : 死亡
 - 7 : その他死亡
 - 9 : その他

DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 出来高換算額/日 回帰木分析

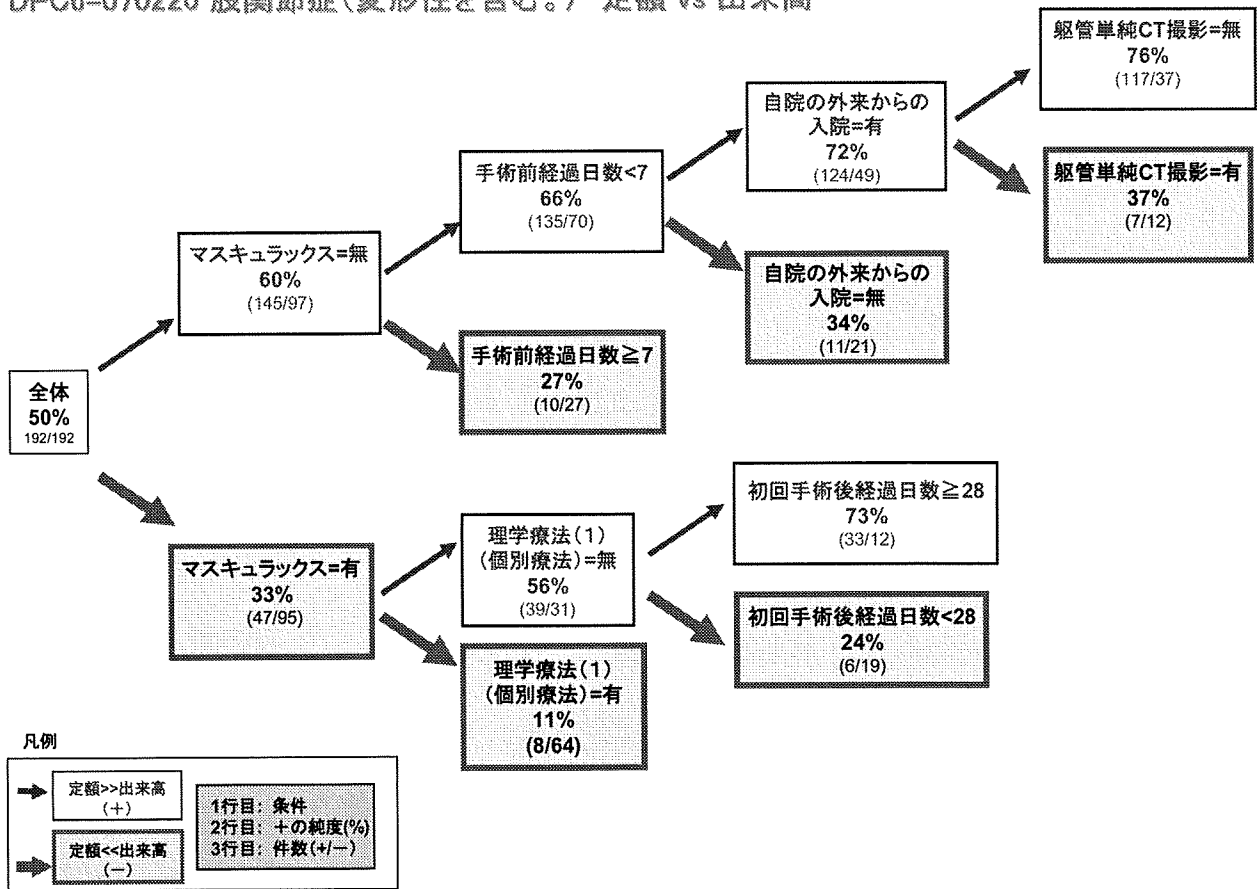
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の変化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 入院時年齢<26
- 手術=97,無
- 駆管単純MRI撮影=有
- 前回入院有無=無
- マスク又は気管内挿管による吸入と併用するプロポフォール全身麻酔=有
- 作業療法=有

(*)手術
 01,02: 人工関節置換術
 03: 人工骨頭挿入術
 関節切除術
 観血的関節固定術
 臼蓋形成手術
 骨切り術
 関節形成手術
 変形性股関節症手術
 96: 人工関節除去術
 股関節筋群解離術
 股関節内転筋切除術
 関節滑膜切除術
 97: その他手術

DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 定額 vs 出来高



DPC6=070220 股関節症(変形性を含む。) 定額 vs 出来高

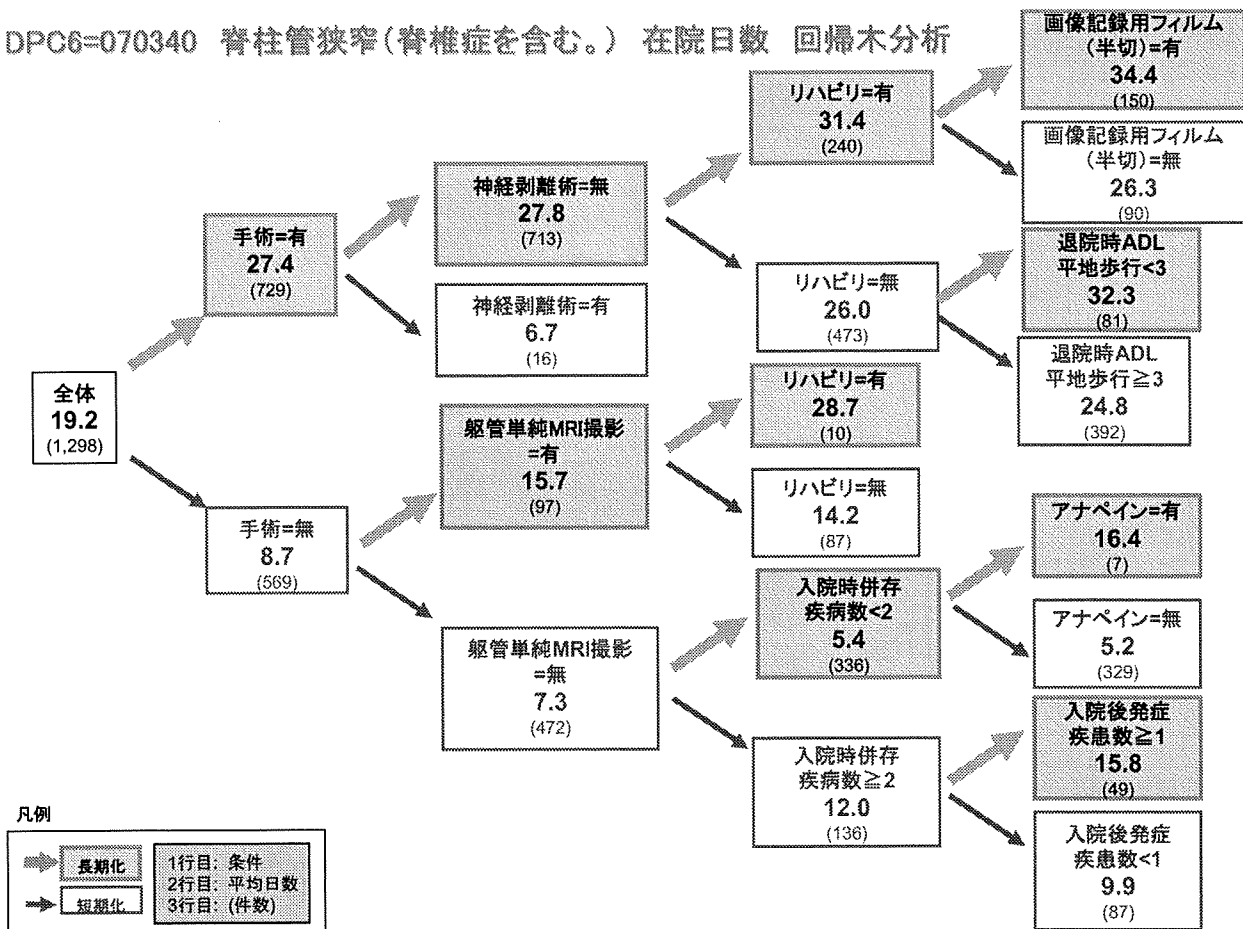
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 手術前経過日数≥7
- 理学療法(1)(個別療法)=有
- 初回手術後経過日数<28

DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)

DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 在院日数 回帰木分析



DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 在院日数 回帰木分析

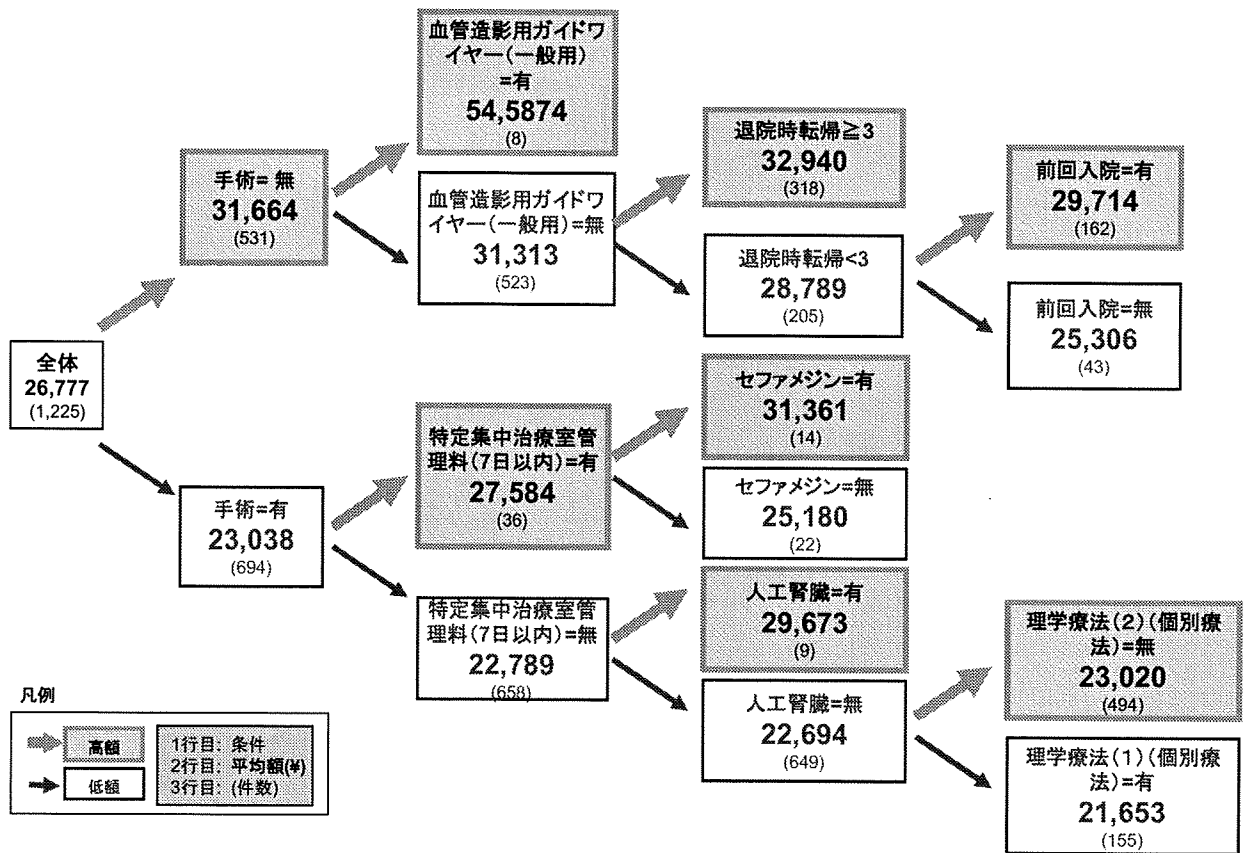
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術=有
- 神経剥離術=無
- 尿管単純MRI撮影=有
- リハビリ=有
- 入院時併存疾病数<2
- 画像記録用フィルム(半切)=有
- 退院時ADL平地歩行<3
- アナペイン=有
- 入院後発症疾患数≥1

(*) ADL平地歩行
 0: 全介助
 1,2: 一部介助
 3: 自立
 9: 不明

DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 出来高換算額/日 回帰木分析

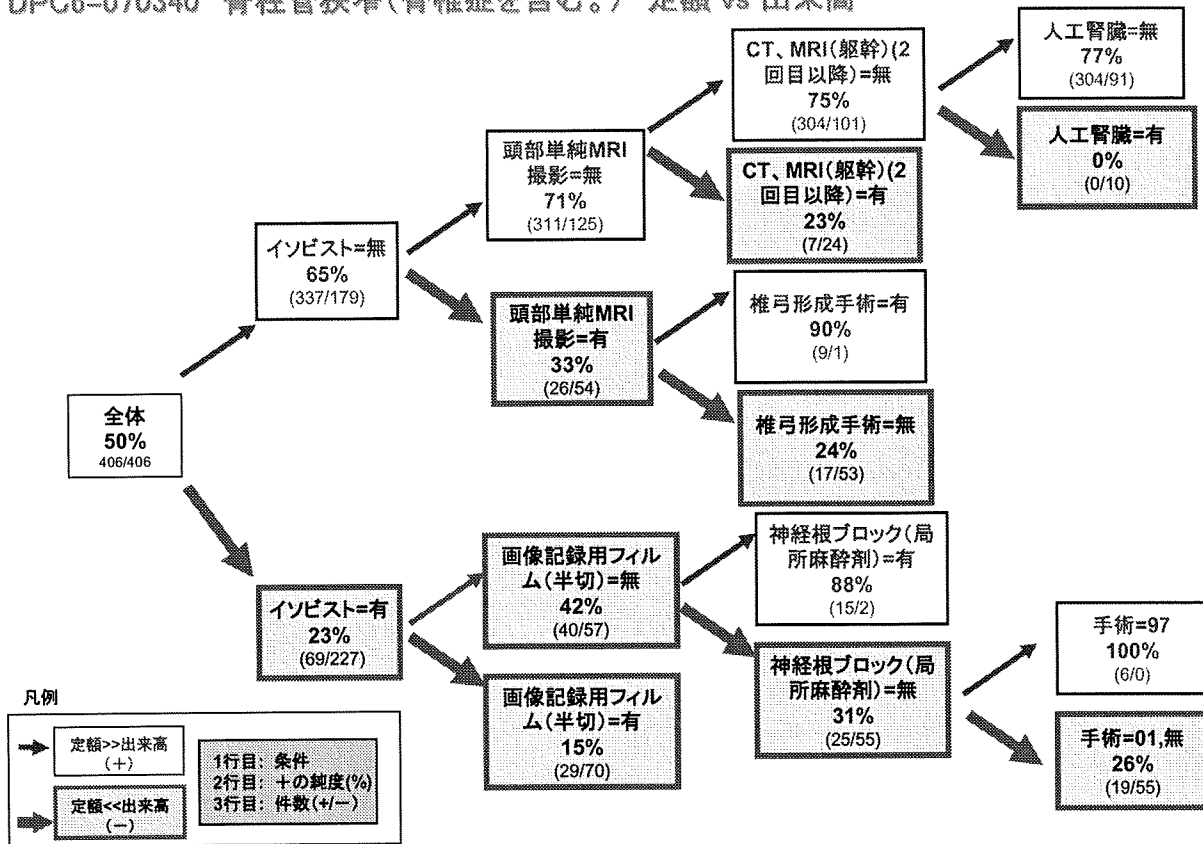
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 手術=無
- 血管造影用ガイドワイヤー(一般用)=有
- 特定集中治療室管理料(7日以内)=有
- 退院時転帰 \geq 3
- セファメジン=有
- 人工腎臓=有
- 前回入院=有
- 理学療法(2)(個別療法)=無

(*) 退院時転帰
 1: 治癒
 2: 軽快
 3: 寛解
 4: 不変
 5: 増悪
 6: 死亡
 7: その他死亡
 9: その他

DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 定額 vs 出来高



DPC6=070340 脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- ・イソピスト=有
- ・画像記録用フィルム(半切)=有
- ・CT、MRI(躯幹)(2回目以降)=有
- ・椎弓形成手術=無
- ・人工腎臓=有
- ・手術=01,無

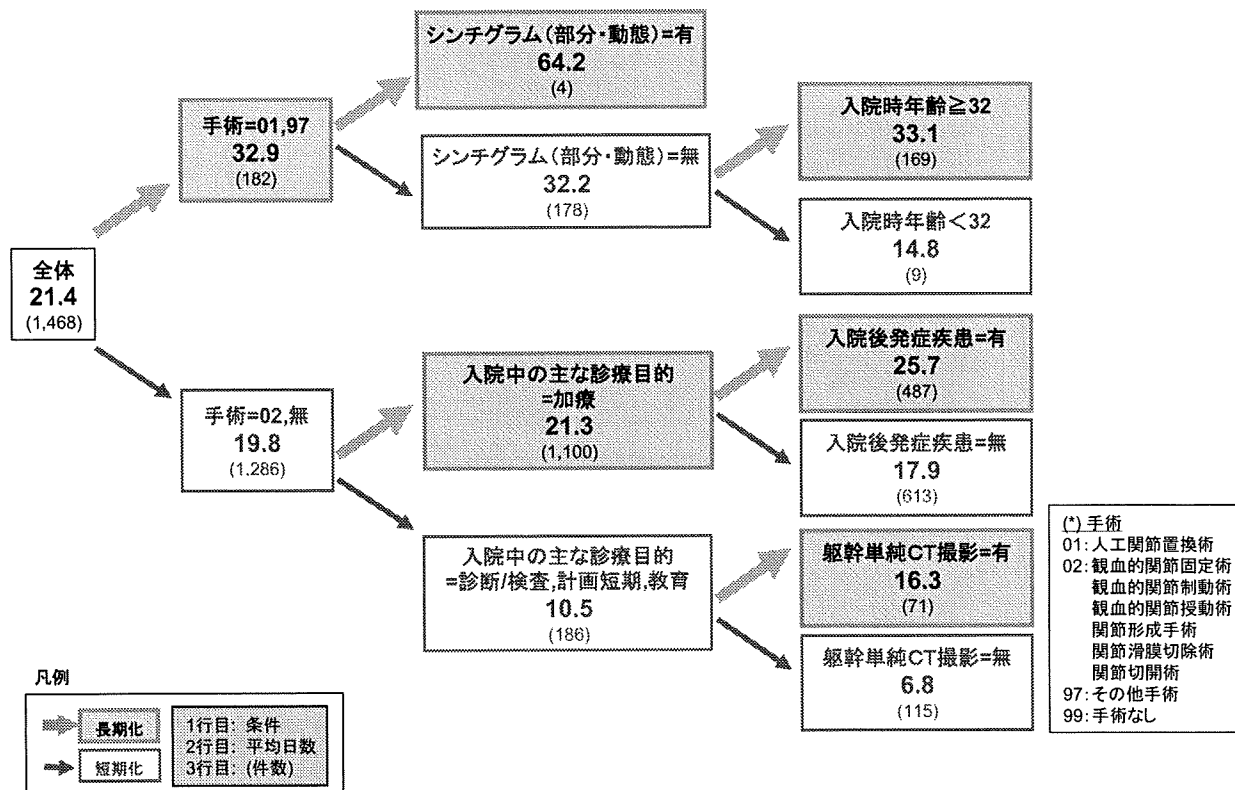
(*) 手術

- 01: 椎間板摘出術
体外式脊椎固定術
椎弓形成手術
椎弓切除術
脊椎固定術
- 97: 脊椎、骨盤内異物(挿入物)除去術
脊髓刺激装置植込術
その他手術

DPC6=070560

リウマチ以外の全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患

DPC6=070560 リウマチ以外の全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 在院日数回帰木分析



DPC6=070560 リウマチ以外の全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 在院日数回帰木分析

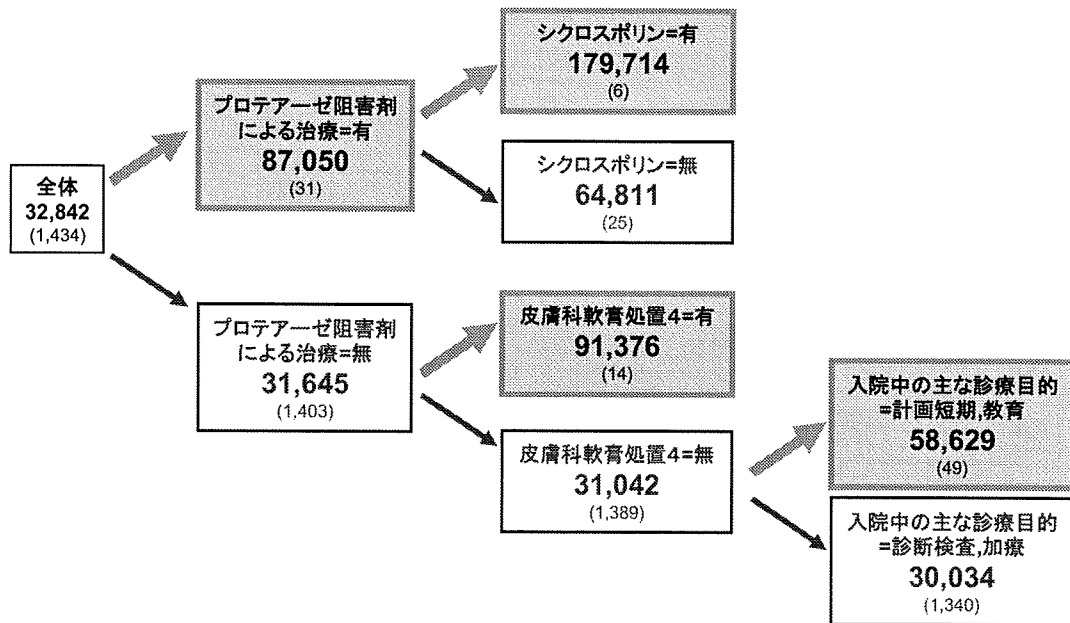
在院日数回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

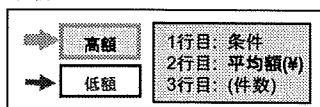
- 手術=01,97
- シンチグラム(部分・動態)=有
- 入院中の主な診療目的=加療
- 入院時年齢≥32
- 入院後発症疾患=有
- 躯幹単純CT撮影=有

(*)退院時転帰

- 1 : 治癒
- 2 : 軽快
- 3 : 寛解
- 4 : 不変
- 5 : 増悪
- 6 : 死亡
- 7 : その他死亡
- 9 : その他



凡例



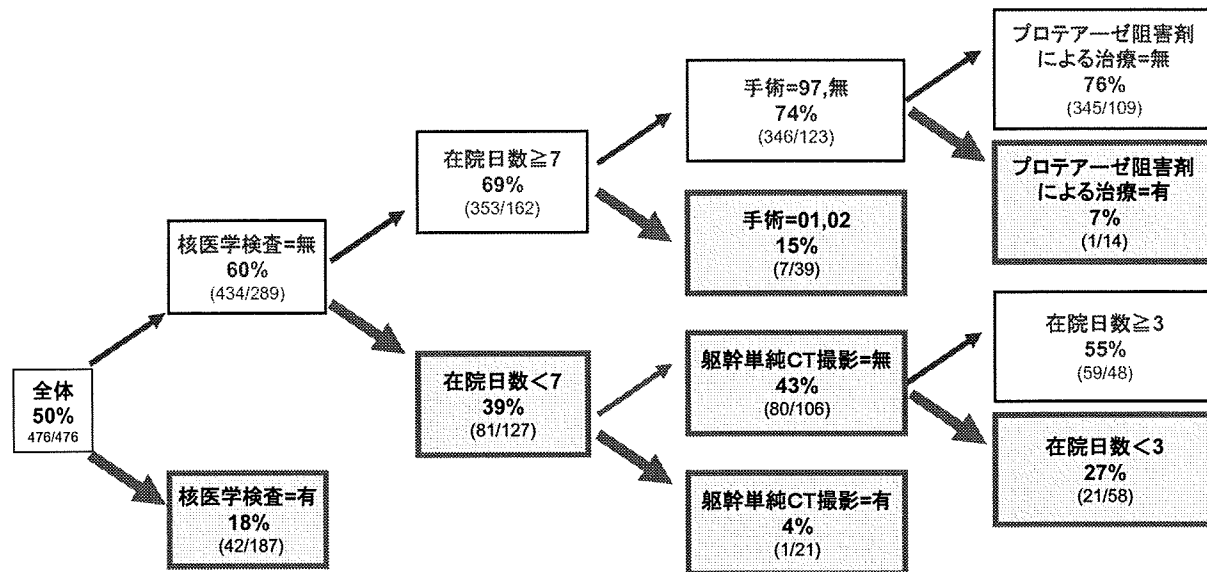
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

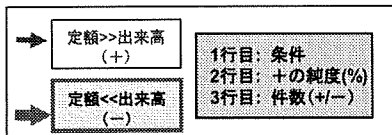
- プロテアーゼ阻害剤による治療=有
- シクロスポリン=有
- 皮膚科軟膏処置4=有
- 入院中の主な診療目的=計画短期,教育

(*)ICD10コード:
M0:関節障害

DPC6=070560 リウマチ以外の全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 定額 vs 出来高



凡例



- (*)手術
 01: 人工関節置換術
 02: 親血的関節固定術
 親血的関節制動術
 親血的関節授動術
 関節形成手術
 関節滑膜切除術
 関節切開術
 97: その他手術
 99: 手術なし

DPC6=070560 リウマチ以外の全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 定額 vs 出来高

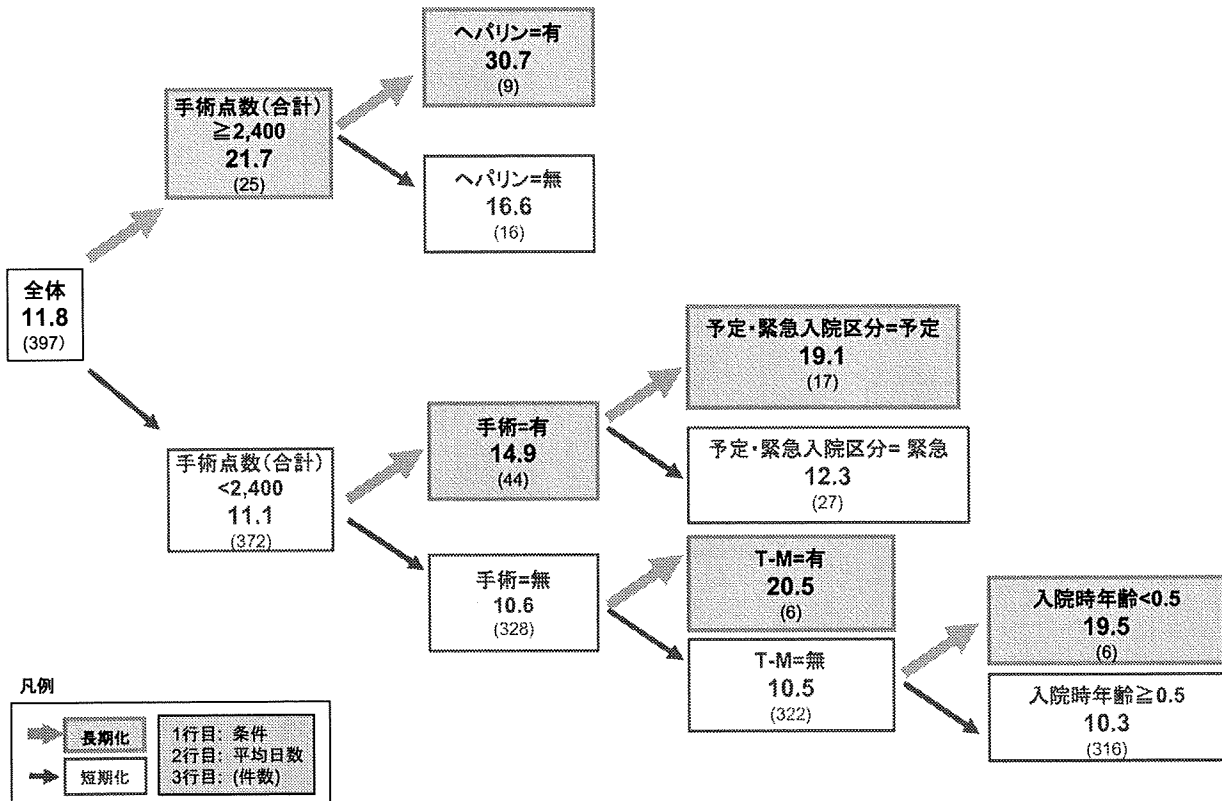
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 核医学検査=有
- 手術=01,02
- 躯幹単純CT撮影=有
- プロテアーゼ阻害剤による治療=有
- 在院日数<3

DPC6=080011 急性膿皮症

DPC6=080011 急性膿皮症 在院日数 回帰木分析



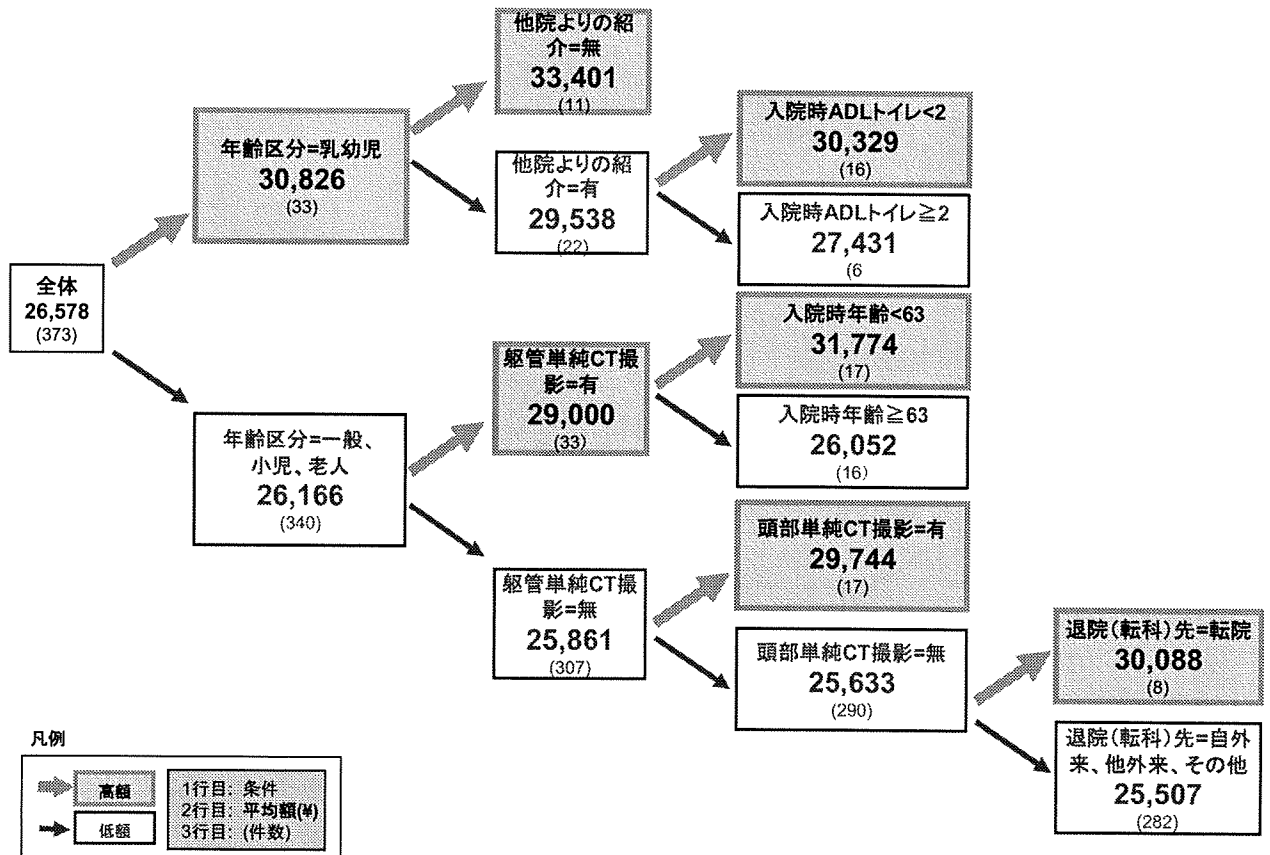
DPC6=080011 急性膿皮症 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術点数(合計) ≥2,400
- ヘパリン=有
- 手術=有
- 予定・緊急入院区分=予定
- T-M=有
- 入院時年齢<0.5

DPC6=080011 急性膿皮症 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=080011 急性膿皮症 出来高換算額/日 回帰木分析

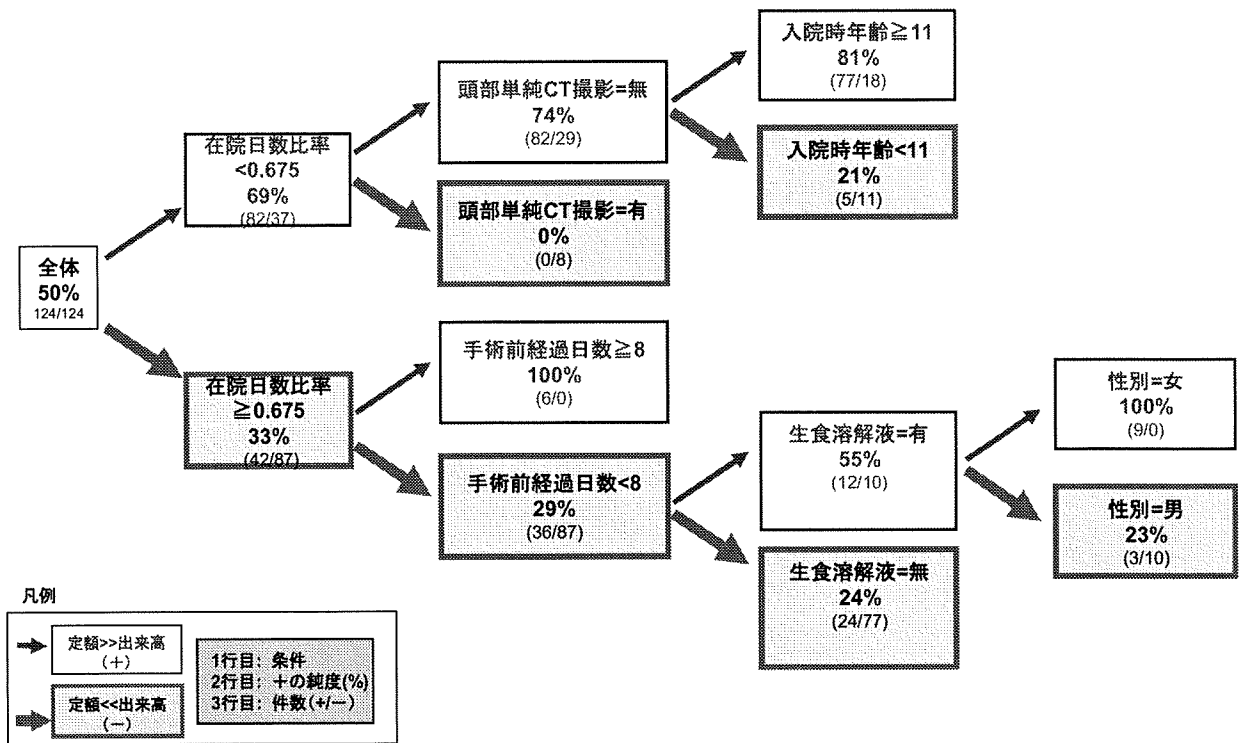
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 年齢区分=乳幼児
- 他院よりの紹介=無
- 躯管単純CT撮影=有
- 入院時ADLTイレ<2
- 入院時年齢<63
- 頭部単純CT撮影=有
- 退院(転科)先=転院

(*) ADLT-IL
0: 全介助
1: 一部介助
2: 自立
9: 不明

DPC6=080011 急性膿皮症 定額 vs 出来高



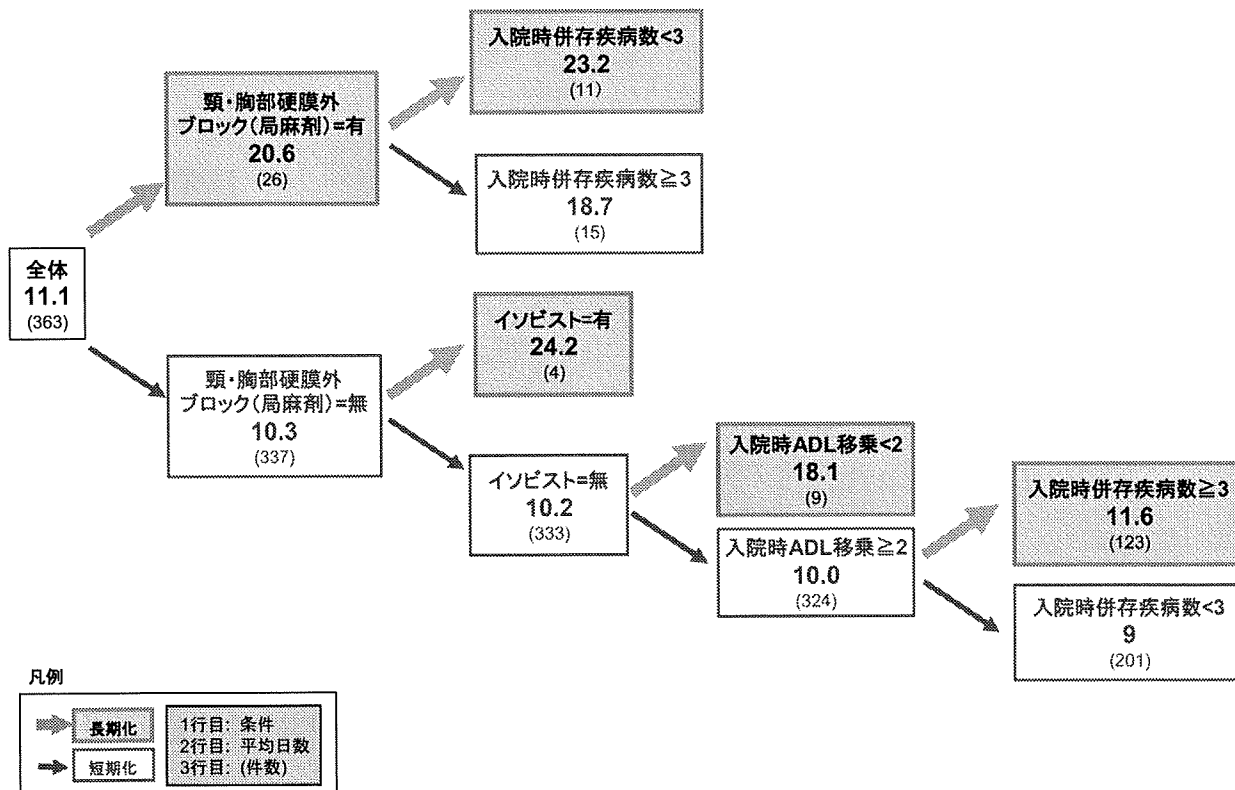
DPC6=080011 急性膿皮症 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 頭部単純CT撮影=有
- 手術前経過日数<8
- 入院時年齢<11
- 生食溶解液=無
- 性別=男

DPC6=080020 带状疱疹

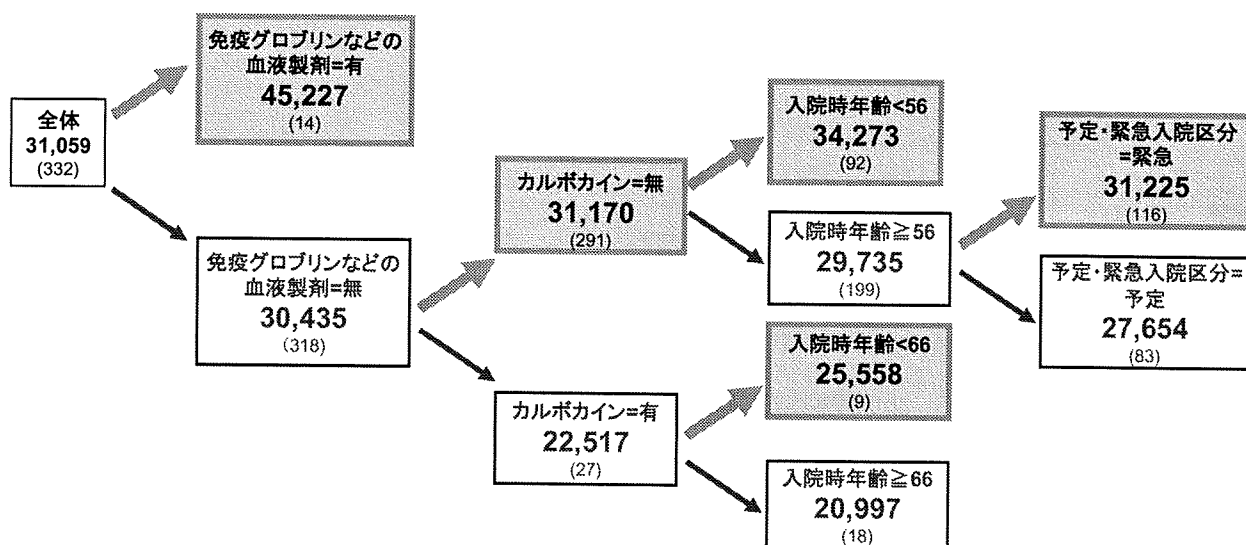


在院日数回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- ・頸・胸部硬膜外ブロック(局麻剤)=有
- ・入院時併存疾病数<3
- ・イソピスト=有
- ・入院時ADL移乗<2
- ・入院時併存疾病数≥3

(*) ADL移乗
 0: 全介助
 1,2: 一部介助
 3: 自立
 9: 不明



凡例

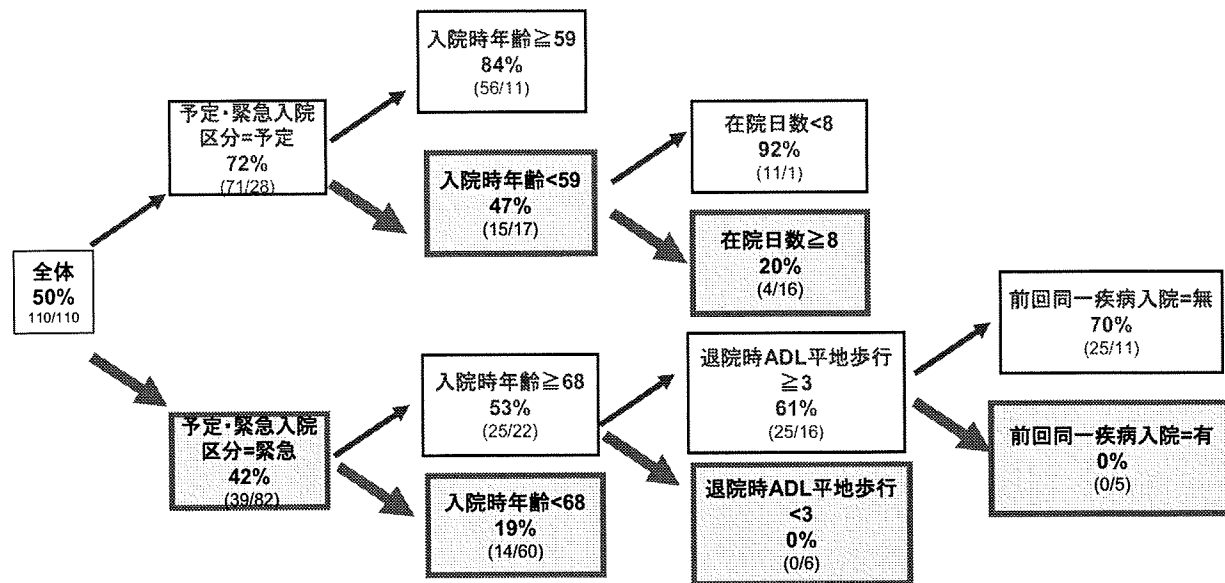


出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

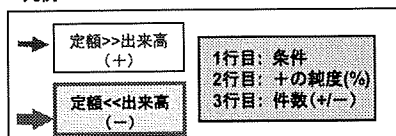
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 免疫グロブリンなどの血液製剤=有
- カルボカイン=無
- 入院時年齢<56
- 予定・緊急入院区分=緊急

DPC6=080020 带状疱疹 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=080020 带状疱疹 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- 入院時年齢<68
- 在院日数≥8
- 退院時ADL平地歩行<3
- 前回同一疾病入院=有

DPC6=090010 乳房の悪性腫瘍